

A forest with the sound of horns

# ホルンの森

Ｊさん一家がこの森に移り住んで一週間  
子ども達を自然豊かな場所で育ててあげたい  
そんな思いでこの森を選んだ

ある日、森に雨が降る、動物達が踊りだし  
鳥が歌い出し、何かを待っているようだ

雨が止むと、森に虹がかかった  
ホルンの音と共に.....  
Ｊさん達は思った  
『虹がかかる音ってあるんだ』

するとどこからともなく虹をまとった動物達が現れた  
ホルンの森はお祭り騒ぎだ

みんなにドングリを配る浪費癖のボンボン

シマウマと競争するハシッテルンカ、  
急に止まり関節に湿布を貼るハシッテルンカ  
小鳥に「それ飛んでるんか」と言われるトンデルンカ

みんな楽しそうだ

でも、そろそろ虹も消える頃  
薄れゆく虹を悲しそうに見つめる動物たち

しばらくすると『また逢おうね』という言葉と共に消えていった  
ピッキーやライジィ、ネイジイたち

ホルンの森の動物、そしてＪさん一家は  
また森に雨が降り、虹がかかり、そして再会できる日を心待ちにしている

Ｊさんは思った  
『また逢おうね』って、そんな言葉がない  
ホルンの森を創ろうと